



「夢折り鶴」記念碑

体育館前、ロータリー横にある記念碑。本学第1駐車場で制作した「世界最大の折り鶴」が、2010年にギネス記録に認定された記念と平和への祈りを伝えるものです。

折り鶴は、卒業生の呼びかけに本学が協賛し、「世界一の夢折り鶴プロジェクト」として2009年8月28日～30日の3日間かけて制作されました。学生をはじめ、卒業生、地域の方など延べ約800名が参加。参加者の平和への思いを寄せ書きしたロール紙をつなぎ合わせ、100m×100mの紙を2日間かけて制作。3日目の夜、クレーンで吊り上げた両翼81.94mの巨大折り鶴が完成しました。制作の様子は、24時間テレビ(日本テレビ系列)でも中継されました。

[ギネス世界記録:両翼の長さ 81.94m]

■設置場所



※デザインは変更になる場合があります。



学校法人修道学園 創始300周年記念事業

学校法人修道学園は、2025年に創始300周年を迎えます。

2025年の完成をめざし、広島修道大学の新たなランドマークともなるシンボリックな新体育館を建設します。新体育館建設事業寄附については、こちらをご覧ください。

<https://www.shudo-u.ac.jp/300th/kifu.html>



本誌へのご意見などありましたら、下記までお寄せください。
本誌の記事・写真などの無断転載を禁じます。



広島修道大学

学長室総合企画課

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東1-1-1
TEL 082-830-1102 FAX 082-830-1324
WEBサイト <https://www.shudo-u.ac.jp/>



広島修道大学公式SNS

@shudo_u

@shudo_university

@shudo_university

@HiroshimaShudoUniversity

●TRUTHバックナンバー



大学基準協会
大学評価認定マーク

Truth

特集
1

学びを支える

特集
2

ようこそ! 広島修道大学へ



contents

3 特集1 学びを支える

図書館
学習支援センター
ことばラボ(語学自習室)
自由演習室(フリーラボ)

8 特集2 ようこそ!広島修道大学へ

新入生の皆さんへ学部長からのメッセージ

10 未来への探求

宇野 伸浩 教授 国際コミュニティ学部

12 修大人の飛翔 -活躍する卒業生

船木 路子 さん 積水ハウス株式会社

14 修大人 -在学生紹介

田邊 果凜 さん 経済科学部経済情報学科4年
宮地 唯人 さん 経済科学部経済情報学科4年

15 学生・サークルインフォメーション

16 Shudo×SDGs

広島湾七大海の幸を使用したレシピの開発
地域課題の解決に取り組む
「地域つながるプロジェクト」
地域つながるスタートアッププロジェクト」

18 Campus News

20 INFORMATION

24 修大百景

「夢折り鶴」記念碑



美和のサクラソウ

春のメッセージ

春に咲く身近な花のひとつにサクラソウがあります。園芸店でも売られていますが、よくみると河川敷や中山間地の道端等でさりげなく咲いています。文献によると18世紀頃から観賞用に育種が試みられた古い園芸用の花で、その系統や原種(野生種)を明らかにするためDNA解析等の研究も行われています。国の準絶滅危惧種に指定され、全国で保存活動がみられるサクラソウは広島県でも絶滅危惧種1類となっています。

そのような中、世界中で唯一、広島のある場所にしかないサクラソウの固有種があります。「美和のサクラソウ」と呼ばれるその花の自生地は北広島町にあります。現在NPOに引き継がれていますが、長年、地元集落の有志や子どもたちによって自生地の環境が守られてきました。5月になると桃色の小さな花が咲き始めます。谷間の木漏れ日の中、静かに咲く美和のサクラソウの姿は、どこか誇らしげに見えます。それが固有種であると知られる前も後も、変わらず地域の人びとに支えられ咲き続けている力を感じます。

サクラソウは、本当に小さな花です。固有のサクラソウは、見た目では他のサクラソウと区別することが難しくても、その価値を知る人にとっては大きな存在です。小さくても大切な固有の存在である美和のサクラソウは、私たち一人ひとりの姿に重なります。春の庭を、野を、彩る花をながめて、新年度の始まりで少し緊張している心が癒され、励まされることを願います。

学長 矢野 泉



●表紙撮影場所:9号館

9号館は、「三色食品群分類」の赤・黄・緑をテーマカラーに採用し、開放感のある吹抜の天井には大鍋を利用した照明が彩ります。各フロアには、学生が学習スペースとして利用できる机と椅子を配置しています。

特集1

学びを支える

学びを深め、向上させるためには、準備学習・復習が欠かせません。

また、資格取得や自主的に取り組む学びは、学生生活を充実させることができます。

広島修道大学には、学生が学習に取り組める環境や多様なサポートが整っています。



図書館

活用したい 図書館サービス

Point 1 充実した資料

図書約91万冊、雑誌約11,000タイトル、視聴覚資料約24,000点など、中国地方の私立大学で最大規模の所蔵を誇ります。学問分野に合わせた豊富な資料を取りそろえているので、学びに必要な資料を見つけられます。電子書籍・電子ジャーナルも充実しており、中には、電子版でしか閲覧できない資料もあります。いろいろな資料を活用してみましょう。



Point 2 便利なデータベース検索

図書館では、雑誌記事・論文や、新聞記事などを検索できるデータベースを提供しています。レポート作成や研究には、さまざまな文献を参照するため、データベースを活用すると、効率よく文献を探すことができます。検索にとどまらず、論文や新聞記事をデータベース上で閲覧できる場合もあり、大変便利なサービスです。

VPN接続*により学外からもアクセスができます。

データベース検索のアクセス方法 本学図書館WEBサイト⇒データベース検索

※VPN接続：学内専用のWEBサービスが学外からも利用できるようになる。図書館2階レファレンスカウンターまたはWEBサイトから申込みが必要。



Point 3 スタッフが学びを支援

見つからない資料がある場合は、図書館スタッフに相談しましょう。図書館2階レファレンスカウンターでは、図書館内の資料の探し方はもちろん、図書館で入手できない場合の、ILL*サービスや、図書購入希望の申込みなど、図書館スタッフが相談に応じています。

また、図書館内ではピア・サポーターの学生が、利用者の支援をしています。資料探しや図書館の利用方法など、学生視点でのアドバイスがもらえます。

※ILL：図書館間相互貸借を表す「Interlibrary loan」の略称。図書館間が協力し、資料の貸し出しや、複写物の提供をするサービス。



本学図書館は、学習・読書・滞在場所として学生に人気の施設です。全面ガラス張りである、広いフロアに書架と閲覧机が並ぶ図書館は、2004年に日本図書館協会建築賞を受賞しました。今回は、学習に活用できる図書館のポイントをお伝えしていきます。充実した図書館のサービスを、最大限に活用しましょう！

活用したい 図書館設備

Point 1 個人学習に最適

自習室 (M2階)



約100席の座席を配置。机に仕切りがあり、個人学習しやすいスペースです。M2階にあるので、教室などからのアクセスが便利。

利用手続き 不要

閲覧室 (2・3階)



2・3階の広いフロアに約500席を配置。閲覧席の近くには、専門分野ごとに図書が並んでいるので、学習に必要な図書をすぐ手に取ることができます。

利用手続き 不要

研究個室 (3階)



3階の閲覧室に配置している、15室の個人用ブースです。最長で6時間の利用が可能。常設ノートPCの利用ができ、集中して学習に取り組むことができます。

利用手続き 必要(図書館2階カウンター)

常設機器類 ノートPC

Point 2 グループで学び合う

グループ学習室 (3階)



2名以上で学習するスペース。5室あり、最長で3時間の利用が可能です。2部屋を繋げると、12名程度までの入室・利用が可能です。

利用手続き 必要(図書館2階カウンター)

常設機器類 ノートPC

ラーニング・commons (M2階)



PCや大きなディスプレイ、可動式の机等を備えた部屋です。自由に声を出して協働学習ができるので、プレゼンテーションの準備や練習に最適。

利用手続き 必要(図書館M2階ラーニング・commons)

常設機器類 大型ディスプレイ、ノートPC、プリンタ

積極的に図書館を活用しましょう

図書館には、今回紹介した以外にも、さまざまなサービス・設備があります。実際に足を運び、これからの学びに役立ててください。

【図書館開館時間】

授業期 …………… (月～金) 8:45～20:30

(土・日) 10:00～16:00

休暇時 …………… (月～金) 9:15～16:30

※ラーニング・commonsの開室時間は上記とは異なります。

※図書館に関する詳細情報は、図書館WEBサイトをご覧ください。



利用学生の声



林 拓海(はやし たくみ)さん
法学部法律学科4年
(広島県立尾道東高校出身)

私が広島修道大学を志願したきっかけの一つが、図書館でした。オープンキャンパスで初めて来館した際、広くて綺麗な建物と大量の蔵書や視聴覚資料に惹かれました。入学後は、研究個室を利用してレポート作成をしたり、ラーニング・commonsでゼミの仲間と意見を交わしながら発表準備に取り組むなど、あらゆる場面で図書館を活用しています。また、利用する側だけでなく、図書館利用者を支援する図書館ピア・サポーターとしても活動しています。

お気に入りのスポットは書庫です。静かな空間で落ち着いて資料を閲覧できますし、新旧さまざまな資料があるので、ブラウジングして気になる資料に出会う楽しみもあります。また、畳コーナーもリラックスして学習や読書ができるのでおすすめです。



足を伸ばすこともできる畳コーナー(3階)

図書館長からのアドバイス



木村 弘 図書館長
(商学部教授)

本学の図書館は、みなさんの学びを支えるサービスが大変充実しています。授業で学んだことや、興味のあることをきっかけに、自ら課題を発見し、主体的に文献を検索・閲覧することで、深く、幅広く、学びの世界が広がります。仲間との協働学習により得る学びもあるでしょう。

学生のみならず、気軽に来館してください。図書館で、みなさんの学びを支える“なにか”に出会えると思います。図書館を活用して、自分の知的好奇心を鼓舞してください。

学習支援センター

協創館1階にある学習支援センターでは、学生のみさんの学びに関する全般をサポートしています。友人と一緒に相談をすることもできますので、気軽に利用してください。

活用したい 学習サポート

Point 1 学習アドバイザーによる個別学習相談

学習支援センターには、学習アドバイザーが常駐し、個別の学習相談に応じています。学習の悩みや改善したい弱点の克服、大学で必要なスキルについてのアドバイスなど、学びに関するさまざまな相談を受け付けています。

相談事例

- ・レポート、論述問題の書き方
- ・大学生活での時間管理の仕方
- ・TOEIC対策
- ・留学前の英語での面接練習 など

利用手続き

相談申込み:事前予約(推奨)
 相談場所:まなびコモンズ(協創館1階)
※対面の他、Zoomなど遠隔にも対応
 相談時間:12:30~17:30(授業期)
 12:30~16:30(休暇時)

Point 2 ワークショップでモチベーションアップ

学習相談で寄せられる相談内容などからニーズをくみ取り、ワークショップを企画・開催しています。興味・関心のあるテーマがあれば、積極的に参加しましょう。

テーマ例

- ・学術的な文章の読み方
- ・プレゼンテーションのテクニック
- ・TOEICなどの英語学習方法 など

参加方法

参加申込み:事前予約(推奨)
 開催場所:まなびホール(協創館1階)
 開催時間:16:30~18:00
※日程はWEBサイト等で確認してください。

Point 3 スタディグループでスキル向上

自身の学びたい内容に合うテーマごとに、学生が集まり「スタディグループ」を毎週開催しています。継続的に学習することができるので、伸ばしたい学びのスキルが向上します。

テーマ例

- ・意見文を書く
- ・文章表現を学ぼう
- ・TOEIC語彙トレーニング など

参加方法

参加申込み:事前予約(推奨)
 開催場所:まなびコモンズ(協創館1階)
 開催時間:12:25~12:55

上記サービスの利用・参加申込み、ご相談はこちら▼

受付窓口:学習支援センター
 電話:082-830-1426
 メールアドレス:skill@js.shudo-u.ac.jp



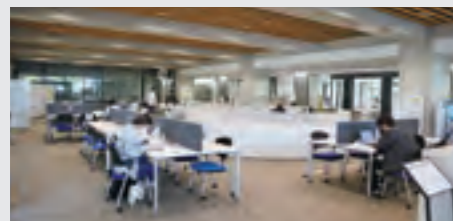
Plus! 学習支援ハンドアウトで自学自習が捗る

自学自習に役立つハンドアウトを提供しています。多数あるハンドアウトのうち、レポート作成に役立つものを、大学WEBサイトからダウンロードすることができます。協創館1階にWEBサイトで公開していないハンドアウトも置いてありますので、自学自習に活用しましょう。



活用したい 学習スペース

まなびコモンズ(協創館1階) 個別学習ゾーン



英語資格やレポートに関する参考図書も置いてあり、自由に閲覧することができます。

利用手続き 不要

まなびコモンズ(協創館1階) グループ学習ゾーン



可動式の机やホワイトボードがあり、ゼミ発表の準備などグループ学習に活用できます。

利用手続き まなびコモンズのカウンターで利用願に記入

まなびラボ(協創館1階)



ノートPCを設置しており、レポートの作成・印刷や、学習相談で相談した内容の実践にも活用できます。

利用手続き 学習支援センターカウンターのカードリーダーに学生証をスキャン

ことばラボ(語学自習室)

活用したい 語学学習用ソフトウェア

協創館2階の「ことばラボ」は、パソコン40台を備えており、その内16台が語学ブース仕様となっています。ここでは、語学関連の学習を優先的に行う自習室です。

ことばラボには、自宅で準備することが難しい専門的なソフトウェアなども備えていますので、留学や英語資格取得などに向けた語学力向上を目的とした学習が可能です。

語学ブースは、発声ができる学習スペースとなっており、英会話などの発声練習、外国語音声聴きながら、そのすぐ後を追って復唱するシャドーイング、通訳訓練などを行うことができます。語学学習以外のパソコンを使用した学習も可能です。

【場所】

協創館2階

【利用手続き】

GLS事務室の端末で申請

【開室時間】

授業期 …………… (月~金)9:00~18:00

休暇時 …………… (月~金)9:00~16:20

自由演習室(フリーラボ)



活用したい 多様なソフトウェア

6号館3階の「自由演習室」は、パソコン32台を備え、情報系の学習やパソコンを使った学習に活用できます。

自由演習室のパソコンには、ExcelやWord、PowerPointなどのMicrosoft officeはもちろん、統計ソフト、数式処理ソフト、地理情報分析ソフト、動画・画像編集ソフト、3DCG作成ソフトやプログラミングソフトなど、専門的なものも含め総計50以上のソフトウェアがインストールされています。情報収集や文章作成、プレゼンテーションの準備、情報系の専門科目の学習、プログラミング、統計処理やデータ分析など幅広い学習に活用することができます。

【場所】

6号館3階

【利用手続き】

情報センター窓口の端末で申請

【開室時間】

授業期 …………… (月~金)9:00~20:20

休暇時 …………… (月~金)9:00~16:20

このほかにも、教員採用試験に向け学習ができる「教職課程学習室」や模擬授業ができる「教職課程演習室」、公務員試験やキャリア支援講座に関する自習ができる「公務員試験等学習室」など、目的に応じた学習スペースを設けています。また、学生が自由に使えるスペースである学生ラウンジや9号館など、各施設にも自習に使用することができるスペースがあります。自分なりに学内の施設やサポートを学習に活用してください。



教職課程学習室



教職課程演習室



9号館

ようこそ！ 広島修道大学へ

特集2

新入生の皆さんへ
学部長からのメッセージ



商学部長 仲村 靖(なかむら やすし)

学びの力は問う力

ご入学おめでとうございます。保証人の方々にもお慶び申し上げます。さて、これから高校までとは違った大学での学びが始まります。「大学での学び」とは何でしょう？それは授業を聴いて理解するだけでなく、「どうして？」「本当にそうかな？」と問うことにあります。商学部での学修を通じて、当たり前だと思っていた事柄に改めて疑問を持ち、そこに課題を発見し、その解決に取り組んでみて下さい。そうすることで、社会の発展に貢献できる力を身につけることができます。

皆さんが爽り多い大学生活を送られるように、期待しています。



人文学部長 河口 和也(かわぐち かずや)

ようこそ人文学部へ

ご入学おめでとうございます。人文学という学問は、人間の本性を深く探究することをめざします。「真理」に到達したいと願うことも人間の本性かもしれません。皆さんもこれまでの勉強では「正解」を追い求めてきたのではないのでしょうか。しかし、ラテン語の格言に“Errare humanum est.”という言葉があります。「間違えることは人間的」とでも訳せるのでしょうか。このあとには、「間違っていることに気づかずにいることは罪」という言葉が続きます。もしかすると「正解」にたどり着く方法のひとつは間違えることであり、間違えることは必ずしも悪いことだけではないようです。



法学部長 奥谷 健(おくや たけし)

法学部へようこそ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
法学部の学びは社会問題とその解決策について考えます。ただし、正解は1つだけではありません。覚えるだけでなく、その知識を前提に合理的な答えを考えることが重要なのです。とはいえ、問題に対する答えは人それぞれです。多くの人の考えを聞き、自分の考えをまとめ、多くの人に納得してもらえらる考えを示すことが必要です。そのためには、多くの人とコミュニケーションをとり、互いに尊重し合うことが重要です。多くの友人を作り、共に学び、充実した学生生活を過ごしてください。



経済科学部長 前田 純一(まえだ じゅんいち)

主体的に行動していこう

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。保証人の皆様にもお慶びを申し上げます。

今日から大学生となり、高校生活とはまったく違った生活が皆さんを待っています。大学ではいろいろなことが自由に選択できるようになりますが、その分、自分で考え、判断し、行動することが必要になってきます。待っているだけでは、なかなか前に進むことができないかもしれません。これから始まる大学生活を通じて、自分で主体的に行動していくことを身につけていくと欲しいと思います。皆さんの成長していく姿を楽しみにしております。



人間環境学部長 中園 篤典(なかその あつひり)

人間環境学部へようこそ

現代の環境問題は、気候変動、大気汚染、食糧危機、資源枯渇、里山里海保全、リサイクルなど、地球規模の広がりを見せています。大学生となった皆さんには、より良い社会を実現するため自分が何をできるのか、主体的に考えてほしいと思います。人間環境学部では、環境を経済システムから捉える「環境マネジメント」、持続可能な生活様式を発信する「環境教育」、自然科学の手法を活用する「環境科学」という3つのコースを設け、皆さんの学びを全力でサポートします。人間環境学部で環境問題と人間行動の関わり合いを学び、社会の持続的な発展に貢献できる「道」を探してください。



健康科学部長 大森 彰人(おおもり あきひと)

限られた時間を大切に

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。広島修道大学に希望を抱いて入学した人も不本意だけれど入学したという人もいます。大学での4年間は長いようで短く、あっという間に過ぎてしまいます。限られた時間を無駄にせず、サークル活動、海外研修等々に、貪欲にチャレンジしてほしいと思います。健康学部では学んだ知識を使える知識に高めるためにさまざまな実験や実習が用意されています。積極的に取り組んで、大きく成長されることを期待しています。



国際コミュニティ学部長 佐渡 紀子(さどのりこ)

国際コミュニティ学部へようこそ

ご入学、おめでとうございます。この1年を振り返るとき、私たちの暮らしが国際社会の動きと無縁ではないことを改めて感じます。同時に日本社会には多くの課題があり、急激に変化する国際社会の中でそれらを乗り越えるには、革新や挑戦が必要なことは明らかです。皆さんは入学後、国際政治学、政治学、行政学を学び、外国や地域社会に出かけて実践を重ねます。このような学びと経験を通じて、現在ある課題だけでなく、私たちが将来直面する課題に対しても、向き合う力、そして解決に向けて行動を起こす力を伸ばしていきましょう。



国際コミュニティ学部教授

のぶ ひろ
う の びろ
宇野 伸浩

プロフィール

早稲田大学大学院 文学研究科 史学(東洋史)専攻博士後期課程単位取得満期退学
博士(文学)
専門分野:モンゴル史
主要研究テーマ:モンゴル帝国の歴史

未来への探求

「グローバル・ヒストリーとしてのモンゴル帝国史」

初期グローバル化としてのモンゴル帝国

歴史学において、グローバル・ヒストリーという新しいテーマが重要になっています。新大陸の銀がヨーロッパとアジアを結んだ16世紀が、世界史上グローバル化が始まった時代と言われています。それよりもう一つ前の時代のモンゴル帝国時代は、地球規模ではないですが、広域の帝国が出現したことにより、東アジア、西アジア、ヨーロッパの文明が緩やかにつながり、やはり一体化が進んだ時代ではないかと言われています。

現在出版に向けて二つの原稿を準備しています。ひとつは集英社が創業95周年記念企画として刊行中のアジア人物史のシリーズのうち第5巻『モンゴル帝国のユーラシア統一』の1章として、チンギス・カンの伝記を書きました。チンギス・カンというと遊牧部族を統一した勇猛

果敢な武将というイメージを持つ方が多いかと思いますが、実際のチンギス・カンは、むしろ遊牧民以外の臣下、たとえばイスラーム教徒の臣下や契丹人(10世紀に遼朝を建国したモンゴル系の民族)の臣下を重視して早くから彼らを取りこみ、また商業を重視してムスリム商人から西アジアの商品を購入することに熱心だったということが分かっています。チンギス・カンは、遠い西アジア世界からもたらされる商品に大に関心があった、いわばグローバル化しつつある世界を意識していた人物だったようです。

もうひとつは、モンゴル帝国の成立と拡大について、岩波書店から刊行中の歴史講座世界歴史の10巻に「初期グローバル化としてのモンゴル帝国の成立・発展」を書きました。これは、少し理論的側面に力を入れて、イスラーム世界の東方への拡大という形ですでに始まっていたグローバル化を、モンゴル帝国の出現が加速させたことについて書いています。これは、グローバル・ヒストリーの中にモンゴル帝国を位置付けるための研究です。



『集史』細密画、君主と皇后が座るイルハン国の玉座。ベルリン州立図書館Diez Albumから (Staatsbibliothek zu Berlin, Orientabteilung, Diez A Fol. 70, S. 22, Nr. 1, Mongolische Thronszene.) (ドイツ)



気候変動グラフ(横軸は西暦、縦軸左は夏季降水量偏差、縦軸右は夏季気温偏差)

ペルシア語史料『集史』

私が、チンギス・カンやモンゴル帝国を研究するときに使う主な史料は、実はモンゴル語や漢文ではなくペルシア語の史料です。以前はモンゴル語の『元朝秘史』が最も優れたチンギス・カンについての史料だと考えられていました。チンギス・カンについての映画や小説はほとんど『元朝秘史』に基づいて作られています。しかし、実は『元朝秘史』はフィクションが多く、ペルシア語で書かれた『集史』の方が信憑性の高い史料だということが分かってきました。今回書いたチンギス・カン伝は、ほとんど『集史』に

基づいて書いており、新しいチンギス・カン像を提示しています。

モンゴル帝国と気候変動

モンゴル帝国時代に繁栄したユーラシア大陸は、14世紀半ばに衰退していきます。その要因の一つに気候変動があったと言われており、歴史学と古気候学の学際研究が行われています。現在、科学研究費助成事業※の共同研究として、名古屋大学の古気候学の研究者と協力して、樹木年輪データの分析から明らかになった13-14世紀の夏季の気温と降水量のデータを、歴史研究に応用することに取り組んでいます。私の担当は、元朝時代の中国の自然災害と気候変動の関係を解明することです。

※科学研究費助成事業

人文学、社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」を格段に発展させることを目的とする「競争的研究費」であり、独創的・先駆的な研究に対する助成を国が行うもの。



詳しくはこちら



イルハン国のオルジェイトゥ廟(イラン)



首都カラコルム遺跡、石碑の土台の亀趺(モンゴル)

修 大 人 の 飛 翔

活躍する卒業生

GRADUATES
MESSAGE
Vol.46*

積水ハウス株式会社
人財開発部

ふな き みち こ
船木 路子さん

商学部国際商学科* 2002年9月卒業
(広島県立呉昭和高校出身)
※現在の商学部商学科



詳しくはこちら

※「卒業生からの便り」からの通算



2度の留学を経験した 大学時代

広島修道大学へは、異文化交流やグローバル人材育成に注力している点に惹かれ、交換留学を視野に入学しました。念願叶い韓国とカナダへ各10ヵ月の交換留学の機会を頂き、大学生活の約半分を海外で過ごしました。

留学生活は楽しくも、幾度となく心が折れかけましたが、限られた時間を充実させるべく行動した結果、語学習得に加え、生涯大事にしたい世界各国の友人と得難い時間を共に過ごせました。「異国でも自分らしさ貫きチャレンジし続けた」という自信は、今も大きな糧となっています。

大学時代の留学は、感受性豊かな時期に「多様な価値観に放り込まれる」経験でしたが、それらを否定せず受容するというのが、私の生き方に大きな変化をもたらしてくれました。

キャリアチェンジを 経て現職へ

現職は3社目になります。1社目の広島の自動車部品メーカーでは、海外拠点の設立関連および経営資源管理に従事し海外赴任も経験したことで、語学スキルを含めたりスキリングの重要性に気付かされました。結婚を機に退職しましたが、好きな仕事で社会の役に立ちたいという思いから再

就職しました。

2社目の総合メーカーでは、知的財産部で海外分室立上げプロジェクトやパラリーガル業務を経て人事部へ異動し、国内外の採用戦略の企画立案を軸にさまざまな仕事にトライしてきました。思い出深い仕事の一つに「第4回 HRテクノロジー大賞」(HR総研主催、経済産業省後援)の受賞があります。内容は、テクノロジーの活用によりキャリア採用の煩雑化された採用工程を2割削減し、その時間をダイバーシティ推進の取組に充てる、というものです。人事採用分野の取組みが会社の生産性向上および経営課題解決へ寄与し、さらには社会的影響をももたらせるのだと、強く印象に残っています。

2021年秋より在籍している現在の会社では、これまでの知見を生かし、本社の人財開発部で管理職として、採用に関わる仕事全般を遂行しています。

“connecting the dots” ～人生を豊かに彩って～

人生を豊かにするには「ありがたい姿を描くこと」次に「好き・得意を見つけ、より得意にしていくこと」そして「この二つをマッチングさせる」このサイクルを回すことだと思います。思い返せばずっとこの思考で、今も将来像を

描いています。翻って、企業の人材育成研修では、この思考法の研修が高確率で取り入れられており、それだけ実践できていない人が多いことに気付かされました。

このサイクルを作り出すには、自身の直感を信じて一歩踏み出す勇気と、限られたリソース(時間・お金)の中でトライして、経験から得たものを内省し、自問自答しながら一つ一つを意味付けすることです。正に故ジョブズ氏の格言“connecting the dots”のように行動する事で、点と点の経験が線で繋がり、豊かなライフステージに出会えることと思います。

私のターニングポイント

留学先では寮での共同生活でしたが、多様な文化的背景をもった仲間との交流は、私の意識と行動に変容を持たらし、かけがえのない時間となりました。



▲カナダ留学時(写真左:船木さん)



▲仕事風景(オンラインミーティングをしている様子)



▲第4回HRテクノロジー大賞授賞式



▲本学合同企業説明会にて

宮地 唯人 (みやじ ゆいと)さん
経済科学部経済情報学科4年
広島県立海田高校出身

田邊 果凜 (たなべ かりん)さん
経済科学部経済情報学科4年
山口県立岩国総合高校出身

マイナビ主催「課題解決プロジェクト」全国4位!

身近な経験を生かして アイデアを考案

企業から出題されるテーマ別に、課題解決の企画提案をするオンライン完結型ビジネスアイデアコンテストにゼミ活動の一環として応募しました。2回目の参加となる今回、メタパース*上での記録保存や記憶の追体験を可能にするアイデアをチームで提案し、入賞という目標を達成できうれしく思います。

普段のゼミでは、プロジェクトマネジメントやデザイン思考などを研究し、グループに分かれてデザイン思考の観点から、社会に貢献できる新しいものの考案に取り組んでいます。

今回のテーマにあるメタパースは、コロナ禍でオンライン授業を経験し、家の中から外の世界とつながってきた私たちにとって身近で興味がある分野でした。そのため、自身の経験からニーズに気づき、これまでに調べたことを生かすことができるのではないかとしました。

アイデアが生まれたきっかけは、「記憶を取り出せたらいいよね」という発想でした。現実世界では、思い出を写真や

動画などの記録媒体で保存しますが、メタパースでの生活が一般的になると、空間上の記録保存が必要になると考えました。それをさらに発展させ、記憶の追体験や、著名人の記憶を後世に残すことができるようなプラス要素のアイデアを考案しました。2人で思考を繰り返すことで、アイデアをブラッシュアップすることができました。

大変なことは成長に

今回大変だった点は、アイデアをいかに分かりやすく提案資料にまとめるかです。このコンテストは提案資料のみで評価され、前は資料を上手くまとめられず、思うような評価をいただけませんでした。その反省から、簡潔な図を活用するなど分かりやすい資料作成を特に意識して取り組みました。ゼミの指導教員である佐藤先生にも相談し、伝えるべきポイントのアドバイスなどをいただき、より良い資料を作成できました。

今回、二人で取り組みましたが、アイデア出しや内容の発展、分かりやすい提案資料作成など、お互いの強みを生かしつつサポートし合いながら取り

組んだからこそその成果だと感じます。今回の経験を通して、日常生活の中からニーズを探す癖ができました。また、日常生活の中で困ることなどについて、自然と解決するアイデアを考えるようになり、自分なりのユニークなアイデアを考える力が成長したと感じています。

努力を惜しまず挑戦を!

大学生活で重要なことは挑戦することだと思います。努力を惜しまず、やりたいことに挑戦してください。今回も入賞という明確な目標を立てて努力した結果です。社会に出る前の重要な期間、今しかできない挑戦をして、後悔のない学生生活を送ってください。頑張った経験はきっと自分の自信になると思います。私たちもあと1年間、将来に向けて努力をしていきたいと思っています。



写真:提案資料の一部

*メタパース:コンピュータ上に構築された3次元の仮想空間やそのサービス

学生サークルインフォメーション Circle Information

スカッシュ部



「第48回全日本学生スカッシュ選手権大会団体戦」において女子準優勝、男子6位

2月20日～23日、「第48回全日本学生スカッシュ選手権大会団体戦」が千葉県サンセットブリーズ保田で行われ、本学女子チームが準優勝、男子チームが6位の好成績を収めました。

5チームずつに分かれた予選リーグでは、男女ともに2位で上位トーナメントに進出。女子チームは予選リーグの勢いそのままに決勝に進出し、準優勝という過去最高の成績を挙げました。男子チームは、4年ぶりの上位トーナメント進出で6位という結果を残しました。



詳しくはこちら

テコンドー部



「第34回全日本学生テコンドー選手権大会」で優勝

2022年12月4日に開催された「第34回全日本学生テコンドー選手権大会」のマツギ有級男子+71kgにおいて、松生 知樹さん(法学部法律学科3年)が優勝しました。

松生さんは現在、テコンドー部と柔道部を兼部して活動しています。柔道は小学校から続け、テコンドーは大学から始められました。また、学外でも総合格闘技に挑戦するなど、幅広く競技に取り組んでいます。

今回、テコンドー歴2年目にして初めて全国大会に出場し、見事優勝を果たしました。



詳しくはこちら

CIRCLE SUPPORT

学生会と大学及びその関連団体が連携し、学生の活発なサークル活動を支援しています。卒業生やサークルOB・OGなど、広島修道大学に関わる多くの人たちも、サークルをサポートしています。

【支援制度】

学生会からの活動資金支給のほか、大学及びその関連団体が、大会の遠征費用や学外施設の利用料などサークル活動に関わるさまざまな費用の援助、また、優秀な戦績・実績を残したサークルを表彰する制度を設けています。

大学	援助金関係	1. 学外の各種団体への加盟費用に対する援助金 2. 公式大会に課外活動として参加する場合の援助金 3. 課外活動にかかる用具等購入に対する援助金 4. 課外活動指導者の臨時的招聘(しょうへい)に係る援助金 5. ヨット部の新艇庫等利用に係る援助金 6. アイススケート部のアイスリンク借り上げ代・貸切バス代援助金 7. スカッシュ部の練習場借り上げ援助金
	表彰関係	8. 学長表彰 9. 課外活動スカラシップ
後援会		10. 全国大会出場サークルへ援助 11. サークル指導者の随行援助
同窓会		12. サークル活性化援助金 13. 特別援助
修サ連*		14. 学生会加盟の体育局・文化局サークルが地方予選を勝ち抜き全国大会に出場する個人または団体への援助金 15. 体育局サークル海外遠征の場合の援助金 16. 体育局・文化局サークルが記念誌を発行する場合の援助金 17. 文化局サークルの記念演奏会、記念発表会主催時の援助金(定期的なものは除く) 18. 学生会推薦の体育局・文化局に属する各1～2サークルへの激励金

*修サ連:広島修道大学サークルOB会連合会

CIRCLE SCHEDULE

サークルの大会・イベントなどの活動スケジュールを大学WEBサイト「クラブ・サークル」ページ内で公開しています。以下のURLまたは二次元コードからアクセスし、「大会・イベントスケジュール」を選択してご覧ください。

<https://www.shudo-u.ac.jp/lifesupport/club/index.html>



広島湾七大海の幸を使用したレシピの開発



健康科学部健康栄養学科 藤井文子教授のゼミナールは、広島県内の食品関連企業で構成された「SFC瀬戸内フードコミュニティ*」、「広島市中央卸売市場 魚食普及委員会」と連携し、「広島湾七大海の幸(メバル、コイワシ、オニオコゼ、アサリ、クロダイ、カキ、アナゴ)」を活用したレシピを開発しました。

本事業は、広島県中小企業団体中央会支援のもと、本学とSFC瀬戸内フードコミュニティ、広島市中央卸売市場 魚食普及委員会が協力し、広島市が推進する「広島湾七大海の幸」を

テーマとした広島湾の海洋資源を広く活用する地域食づくりに取り組む「瀬戸内サスティナブルプロジェクト」の一環です。

ひろみらシンクタンクを通して依頼があり、産学連携事業として、藤井教授指導のもと、管理栄養士をめざすゼミナール学生10名がレシピ開発に取り組みました。

2022年4月以降、地域食づくりアイデアの検討会など、4回の協議を重ね、18種類のレシピを提案し、10月には、その中で6種類のレシピの試食会を行いました。その内、「クロダイと小

松菜のミルクスープ」と「クロダイの磯辺揚げ」は、1月23日～1月27日の期間、本学学食での販売も行いました。開発した商品は今後、県内スーパーや社員食堂等への提案も進めていきます。レシピ開発による地産地消促進が期待されます。

※SFC瀬戸内フードコミュニティ：瀬戸内の食と食文化を育むための社会貢献活動を行う広島の食品企業6社による組織。2008年4月設立の食育推進組織「おいしい朝ごはん研究所」を改名し、2018年4月設立。

参加企業：(株)上万種食製粉所、川中醫油(株)、丸徳海苔(株)、広島魚市場(株)、よしの味噌(株)、日東食品工業(株)

試作レシピ一覧

- クロダイと小松菜のミルクスープ
- コイワシの磯辺唐揚げ
- コイワシの南蛮漬け風
- クロダイの磯辺揚げ
- コロコロ黒鯛コロケ
- 小松菜と牡蠣のチーズグラタン



▲クロダイと小松菜のミルクスープ

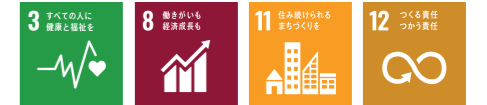


▲クロダイの磯辺揚げ



詳しくはこちら
(レシピも公開しています)

地域課題の解決に取り組む 「地域つながるプロジェクト・ 地域つながるスタートアッププロジェクト」



本学の学生による地域貢献の活動として、学生が地域の方々と共に地域課題の解決に取り組む「地域つながるプロジェクト」と、その準備段階として「地域を知る」ことから始め、地域の抱える問題を発見することを目的に活動する「地域つながるスタートアッププロジェクト」があります。2010年度の開始からこれまで、延べ144プロジェクト1,537名が活動に取り組んでいます。

2月17日、2022年度活動報告会を開催し、計12プロジェクトが1年間の活動を報告しました。併せて、「地域つながるプロジェクト」はポスターセッションも行い、活動の目的や計画性、内容の充実度等により審査が行われ、7つの

プロジェクトが表彰を受けました。最優秀賞を受賞した「防災意識を高めるプロジェクト」は、自然災害の続く近年、災害時にすぐ対応できるよう、地域の方や学生が防災意識を高め、防災知識を身につけてもらうことを目的に活動しています。活動は2021年度から継続して行い、今年度は中学生対象の防災イベントを地域の方々とともに企画し、他のプロジェクトと協働して開催しました。また、メンバーの多くが防災士の資格を取得し、併せて、SNSによる防災知識の発信に取り組む等、「防災の輪」を広げる工夫を行いました。

「地域つながるスタートアッププロジェクト」は1年生を中心に5プロジェクトが江田島や柳井など多様な地域を活動の場としました。報告会において、「行動を起こすことで先が見えた」「新たな課題が見えた」等の活動の振り返りがあり、次年度に向けての活動目標につながったようでした。

「地域つながるプロジェクト」・「地域つながるスタートアッププロジェクト」では、大学での学びを地域貢献に活用するとともに、広島の未来を拓く人材を育成し続けています。

2022年度表彰結果

最優秀賞	防災意識を高めるプロジェクト
優秀賞	安芸太田に来てみんさい!!
ポスター賞	KOIにこい!プロジェクト～己斐の町の活気をとりもどそう～
プレゼン賞	今日から僕は五月っ子!?
プロジェクトマネジメント賞	宮島観光活性化プロジェクト～宮島と世界をつなぐ言語景観～
地域連携賞	浅原を明るく元気に!☆彡
ひろみら賞	発掘!廿日市レジャープロジェクト

※地域つながるスタートアッププロジェクトは、表彰の対象外です。



▲活動報告会の様子



詳しくはこちら



ハワイ大学マノア校と連携協定を締結(1/4)

ハワイ大学マノア校と2023年1月に連携協定を締結。今回の協定締結により、本学の協定校は世界15の国と地域、33の大学となった。2023年度にハワイ大学マノア校への短期留学プログラムを新設し、中長期留学プログラムも今後検討する。ハワイ州と広島県、ホノルル市と広島市はそれぞれ友好都市提携を結んでおり、広島県出身の移民が多く繋がりも深いことから、活発な交流が期待される。



日本労働組合総連合会会長による寄付講座と共同記者会見を実施(12/22)

日本労働組合総連合会(以下、「連合」)広島県連合会寄付講座として開設している講義で、連合の芳野友子会長が登壇。「働くことと労働組合」と題し、連合のめざす社会とその取り組み、ジェンダー平等・多様性推進の取り組みなどについて講演した。本寄付講座は2016年度より開始、感染症の影響による不開講を経て、3年ぶりの開講であった。

講演後の共同記者会見では、矢野学長より寄付講座実施の経緯や意義、芳野会長より今後の寄付講座への思いなどが語られた。



企業展「ローカルジョブサミット」に本学学生がベストプレゼン賞を受賞(11/26)

広島県中小企業家同友会主催の企業展「ローカルジョブサミット」が開催された。県内7大学20チームが、広島県中小企業家同友会に加盟する企業を訪問取材し、企業概要や企業の魅力などをポスター及びパワーポイントにまとめ発表した。本学からは、西研株式会社チームと広島西山青果株式会社チーム(広島文教大学との混合)の2チーム計5名が参加・発表し、西研株式会社を取材したチームがベストプレゼン賞を受賞した。



第25回広島ユネスコ活動奨励賞受賞(2/4)

「地域つながるプロジェクト」として継続的に連携してきた串戸市民センターとの活動が、第25回「広島ユネスコ活動奨励賞」を受賞した。2017年度より4年間、山川人文学部教授が担当教員として、廿日市市串戸地区の子どもの居場所作りの推進やシビックプライドの醸成を目的とし活動を展開してきた。大学での学びを生かしながら地域課題の解決に取り組むなどの活動をとおして、広島の未来を拓く人材育成に尽力したことが認められての受賞となった。



広島フェニックスライオンズクラブより感謝状贈呈(1/27)

健康科学部心理学科学生による薬物乱用防止啓発活動に対し、広島フェニックスライオンズクラブより感謝状が贈呈された。薬物乱用防止教室の開催や広島県薬物乱用防止指導員等、2019年度より継続的に実施している活動が評価された。



卒業生との交流会を開催(1/28)

2022年度2回目となる「卒業生との交流会」を開催、24の企業・団体の卒業生と、69名の学生が参加した。卒業生からは、業界や企業の最新情報に加え、社会人としての生活や仕事との向き合い方、大学生生活のアドバイスなどが語られた。



ひろしま自動車産学官連携推進会議によるカーボンニュートラルに向けた講演を開催(1/18)

国際コミュニティ学部の授業で、カーボンニュートラルに向けた講演を開催。国のエネルギー政策や行政の支援、企業に求められること、取組と課題などを、専門的な知識や地域の産業に与える影響の大きさなどを学んだ。



Hiroshima Tour Guide Programを実施(2/27・28)

広島の代表的観光地での英語ガイドを通して英語力を高めるプログラムを開催し、本学の学生10名が参加。原爆の被害の実情を学び、プロの通訳ガイドのもとで宮島や平和記念公園での英語ガイドの実践訓練に挑戦した。



修大生の起業マインド醸成イベントを開催(2/7)

広島経済同友会との連携事業として、学生の起業マインドを醸成するトークイベント「セカンドキャリア～成功の秘訣～」を開催。元サンフレッチェ広島の森崎浩司氏と中島浩司氏が登壇し、起業時のエピソードや苦労話、学生へのアドバイスをいただき、学生がセカンドキャリアとして「起業」や「創業」を考える契機となった。



後援会主催学生応援企画「100円ランチ」を2年連続実施(1/10-1/27)

2021年度に続き、コロナ禍や物価高騰の影響を受ける学生の健康と経済を食事面で支える事業として、学生応援企画『100円ランチ』キャンペーンを実施。後援会が支援し、一食450円～600円のランチを100円で学生へ提供した。



合同企業セミナーを開催(2/20・21・22・24)

企業・団体約320社による合同企業セミナーを開催。就職活動が本格化する3年生を対象とし、延べ1,762名の学生が参加した。学生たちは卒業後の進路選択に向け、積極的に説明を聞き、質問を行った。



通訳コース生2名が地域通訳案内士に合格

通訳コース履修学生2名(人文学部英語英文学科1名、国際コミュニティ学部国際政治学科1名)が、広島県地域通訳案内士に合格。通訳コースからは制度開始以降5年連続、計15名が合格。英語英文学科以外のコース履修生では初の合格者となった。



商学部経営学科学術講演会「コロナ禍におけるANAの戦略」を開催(12/20)

企業について多角的に学ぶ「企業論」の授業で、ANAホールディングス株式会社常勤顧問の高田直人氏が講演。企業が危機に直面した際の対応や、コロナ禍における成長に向けた努力など、企業経営に携わる高田氏の経験が語られた。



2022年度 退職教職員の紹介

教員				
商学部 キャリア教育担当契約教員(講師) 山本 和史 (やまもと かずし)	人文学部 教授 市川 薫 (いちかわ かおる)	人文学部 教授 岡本 徹 (おかもと とおる)	法学部 教授 CLEARY, William B. (クリアリー ウィリアム バーナード)	法学部 准教授 中林 啓一 (なかばやし けいち)
経済科学部 教授 岩永 安浩 (いわたが やすひろ)	経済科学部 教授 海生 直人 (かいお なおと)	経済科学部 学部契約(教授) 和田 涼子 (わた りょうこ)	経済科学部 外国語契約教員(講師) 大山 美代 (おおやま みよ)	経済科学部 キャリア教育担当契約教員(講師) 増野 洋子 (ますの ようこ)
人間環境学部 准教授 城野 哲平 (じょうの てつぺい)	健康科学部 教授 今田 純雄 (いまだ すみお)	健康科学部 教授 勝岡 宏之 (かつおか ひろゆき)	健康科学部 臨床心理相談センター相談員(助教) 稲吉 玲美 (いなよし れみ)	国際コミュニティ学部 留学生教育担当契約教員(講師) 横田 和子 (よこた かずこ)

職員				
学校法人修道学園監査室 室長 森戸 智枝 (もりと ともえ)	学生センター 主務補 佐藤 隆司 (さとう たかし)	図書館 事務部長 岡原 重則 (おかはら しげのり)	図書課 第1種契約職員 重乗 祐子 (しげのり ゆうこ)	図書課 第1種契約職員 外山 典子 (とやま のりこ)
情報センター 次長 中尾 弘 (なかお ひろし)	情報システム課 主幹 鷹家 博志 (たかいえ ひろし)	教務第1課 書記 斎藤 朱莉 (さいとう あかり)	教務第2課 第1種契約職員 池田 拓 (いけだ たく)	教務第2課 第1種契約職員 池田 友理 (いけだ ゆり)
教務第2課 第III種契約職員 平田 喜子 (ひらた きこ)	教務第2課 第III種契約職員 丸山 ほか (まるやま ほのか)	教務第3課 第I種契約職員 森田 幸恵 (もりた さちえ)	総合企画課 第I種契約職員 角川 葉月 (かくなが はづき)	入学課 第I種契約職員 田中 友梨 (たなか ゆり)
入学課 第I種契約職員 俵屋 理奈 (たわらや りな)	国際センター 第I種契約職員 沖元 仁美 (おきもと ひとみ)	キャリアセンター 第I種契約職員 福島 実樹 (ふくしま みき)	学習支援センター 学習アドバイザー 宮原 千咲 (みやはら ちさき)	

2023年度 新任教職員の紹介

教員				
商学部 准教授 世良 和美 (せらかずみ)	商学部 キャリア教育担当契約教員(講師) 江利川 良枝 (えりかわ よしえ)	人文学部 准教授 阪上 辰也 (さかうえ たつや)	人文学部 助教 牧瀬 翔麻 (まきせ しょうま)	法学部 助教 十河 隼人 (そごう はやと)
経済科学部 准教授 永岡 成人 (ながおかなると)	経済科学部 准教授 古山 滋人 (ふるやま しげひと)	経済科学部 外国語契約教員(講師) 廣野 允紀 (ひろの まさき)	経済科学部 キャリア教育担当契約教員(講師) 松永 州正 (まつなが くにまさ)	人間環境学部 助教 白石 智宙 (しらいし ちひろ)
健康科学部 教授 森平 准次 (もりだいら じゅんじ)	健康科学部 健康栄養学科助手(助教) 塩田 隆 (しおた たかし)	健康科学部 臨床心理相談センター相談員(助教) 川俣 優 (かわまた ゆう)	国際コミュニティ学部 助教 小須田 翔 (こすだ しょう)	国際コミュニティ学部 留学生教育担当契約教員(講師) 伊藤 賀与子 (いとう かよこ)

職員				
財務課 主事 松尾 尚 (まつお なお)	総務課 書記 山本 諒 (やまもと りょう)	教務第3課 第I種契約職員 岩崎 明美 (いわさき あけみ)	教務第3課 第I種契約職員 坂井 香 (さかい かおり)	入学課 第I種契約職員 國信 朋子 (くにのぶともこ)
入学課 第I種契約職員 増田 香世 (ますだ かよ)	総合企画課 第I種契約職員 上山 君江 (かみやま きみえ)	ひろしま未来協創センター 第I種契約職員 岡本 佳恵 (おかもと かつえ)	国際センター 第I種契約職員 岸田 恭子 (きしだ きょうこ)	図書課 第I種契約職員 辰崎 裕美子 (たつざき ゆみこ)
図書課 第I種契約職員 名越 旬子 (なごし じゅんこ)	学生課 契約カウンセラー 中村 晶子 (なかむら あきこ)	学習支援センター 学習アドバイザー 村田 翔 (むらた しょう)		

名誉教授の称号を授与

2022年度に退職された以下の5名へ、本学での長年の功績に対して名誉教授の称号が授与されました。



市川 薫
(人文学部教授)



今田 純雄
(健康科学部教授)



岡本 徹
(人文学部教授)



CLEARY, William B.
(法学部教授)



海生 直人
(経済科学部教授)

※所属・職位は2022年度末時点。

2023年度 特別客員教授

2023年度、特別客員教授14名が決定しました。(順不同)

市原 則之 氏	(公財)日本オリンピック委員会名誉委員 (一社)日本トップリーグ連携機構専務理事 (公社)日本ダンススポーツ連盟副会長 (公財)日本ハンドボール協会顧問 (学)広島山陽学園理事長 元日本オリンピック委員会副会長兼専務理事 鹿屋体育大学名誉教授
田口 信教 氏	ミュンヘンオリンピック競技大会水泳金メダリスト 医療創生大学常務理事 株式会社あじかん社外取締役(監査等委員) 坂町町長
川平 伴勅 氏	(株)ドリーム・アーツ代表取締役社長
吉田 隆行 氏	学校法人駿河台学園理事長
山本 孝昭 氏	三島食品株式会社代表取締役会長
山崎 良子 氏	広島市信用組合理事長
三島 豊 氏	全国信用協同組合連合会会長
山本 明弘 氏	森信建設(株)代表取締役 広島経済同友会特別幹事
森信 秀樹 氏	デリカウイング(株)取締役会長 株式会社FMはつかいち 代表取締役社長 廿日市商工会議所 名誉会頭
細川 匡 氏	国連ユニタール持続可能な繁栄局長兼広島事務所長 作家
隈元美穂子 氏	公益財団法人頼山陽記念文化財団理事
見延 典子 氏	公益財団法人エネルギー文化・スポーツ財団評議員 公益財団法人広島市文化財団評議員 JOIN(移住・定住推進機構)大使
上田 宗岡 氏	茶道上田宗箇流 家元 (公財)上田流和風堂理事長
AZIMI, Nassrine 氏	グリーン・レガシー・ヒロシマ・イニシアティブ代表者

学長表彰受賞者決定

2022年度学長表彰受賞者が決定し、学長賞団体2団体、個人6名、学長奨励賞団体2団体、個人11名が受賞しました。学長表彰は、本学の学生または団体が、学術・芸術・社会・文化活動などの分野において他の模範となり、本人または団体並びに本学の榮譽になるものを表彰する制度です。

なお、本学では課外活動スカラシップ制度を設けており、学業、人物ともに優れ、特に文化・体育などの活動に顕著な実績をあげた者(対象・学長賞受賞者)に奨学金を支給しています(金額は団体30万円、個人10万円)。

受賞者については本学WEBサイトでご確認ください。

<https://www.shudo-u.ac.jp/zaigaku/news/20230309award.html>



資格取得学生表彰者決定

2022年度資格取得学生表彰者が決定し、優秀賞30名、努力賞54名が受賞しました。資格取得学生表彰は、本学学生の国家資格等の取得を奨励するために設けられた制度です。なお、本学では資格取得スカラシップ制度を設けており、本学学生で学業、人物ともに優れ、特に難易度の高い資格を取得した者について奨学金を支給しています。

この資格取得奨学生は、資格取得表彰最優秀賞または、優秀賞の学部生が対象で、最優秀賞には5万円、優秀賞には3万円が給付されます。

<https://www.shudo-u.ac.jp/career/license/achievement.html>



2023年度 前期修道オープンアカデミー

生涯を通じた学びに対応するため、「修道オープンアカデミー」を開講しています。高校生以上の一般市民を対象としており、無料の「公開講座」と、有料の「エクステンション講座」で構成されています。

詳細は本学WEBサイトでご確認ください。

<https://www.shudo-u.ac.jp/kouryuu/openacademy/index.html>



2023年度 広島修道大学予算

2023年度予算は、中期事業計画及び財政計画に基づき策定しました。

詳細は本学WEBサイトでご確認ください。

<https://www.shudo-u.ac.jp/information/kouhyou/finance.html>



刊行物紹介

本学教員の著書を紹介します。紹介文は先生ご自身よりいただいています。

『「事実性」の哲学—フッサール、メルロ＝ポンティ、ウイトゲンシュタイン、ハーバーマスの現代哲学を見る視点』(広島修道大学テキストシリーズ)

宮坂 和男 著 晃洋書房 2023年2月10日 216ページ 2,640円(税込)

本学の教養科目「哲学」の教科書。ソクラテスやデカルトにおいて典型的に見られたように、ヨーロッパの伝統的哲学は、根本から知ることを目指して日常の現実から離れようとする傾向が強かった。それに対して20世紀の現代哲学には、知覚、言語等に関する「事実」を受け容れようとする姿勢が見られた。本書は、現代哲学が様々な諸相において「事実性」に向き合おうとした次第を検討する。



『英日通訳翻訳における語順処理 順送り訳の歴史・理論・実践』

石塚 浩之 編 水野 的ほか著 ひつじ書房 2023年2月21日 344ページ 8,140円(税込)

英語と日本語は統語構造の隔たりが大きく、二言語間の翻訳においては語順の逆転が当然と思われている。一方、実務者の間では「原文の流れ」を重視し順送り訳が推奨されることが多い。通訳翻訳の実践において訳の順序は基本的論点の一つである。しかし、これを統一テーマとする学術書は世界的にも類を見ない。本書は、英日通訳翻訳における語順処理の問題を多面的かつ包括的に取り上げ、実務・教育・研究のための基盤を提供する。



『続・刑法の判例(総論)』

伊藤 嘉亮ほか著 松原 芳博 編 成文堂 2022年11月20日 262ページ 3,080円(税込)

本書においては、近時の重要判例を厳選した上で、それらを客観的に紹介・解説するにとどまらず、判例法理の更なる発展・形成に寄与するべく、中堅・若手の研究者らがそれらを批判的に検討・論評しています。どういった事件だったのか、どういった結論を裁判所は導いたのか、どういった法命題(規範)がその背景にあったのか、そしてどういった課題・難問に今後取り組まなければならないのかを学べる一冊です。



『AI・ロボットと刑法』

伊藤 嘉亮ほか著 石井 徹哉 編著 成文堂 2022年12月20日 304ページ 7,150円(税込)

近時、自律的に判断・作動するAI(人口知能)やロボットなどが活用されるようになってきました。そうした動向を踏まえ、本書では、例えば、自動運転車が事故を起こした場合は誰がどういった法的責任を負うことになるのか、医療用の画像診断AIを(医師を介さずに)用いることが許されるのかといった喫緊の課題だけでなく、AI自体が法的責任を負うことは可能なのかといった近未来的な問題も検討しています。



2023年度 学年暦

4月	●入学式 ●新入生ガイダンス ●学友会ガイダンス ●前期授業開始 ●振替授業日	1日(土) 1日(土)、3日(月)~6日(木) 7日(金) 10日(月) 29日(土・祝)
5月	●振替授業日 ●G7広島サミット対応期間 ●振替試験日 ●後援会総会(本学) ●第1学期試験	13日(土)、20日(土) 18日(木)~22日(月) 27日(土) 27日(土) 29日(月)~6月2日(金)
7月	●祝日授業日 ●第2学期・前期試験 ●夏季休暇 ●集中講義	17日(月・祝) 24日(月)~28日(金) 31日(月)~9月20日(水) 31日(月)~8月10日(木)
8月	●集中講義 ●前期追試験	21日(月)~24日(木) 25日(金)~29日(火)
9月	●教育懇談会(本学) ●後期授業開始 ●教育懇談会(松江) ●前期学位授与式 ●教育懇談会(岡山)	16日(土) 21日(木) 23日(土・祝) 27日(水) 30日(土)
10月	●教育懇談会(山口) ●祝日授業日 ●教育懇談会(松山) ●教育懇談会(福山)	7日(土) 9日(月・祝) 14日(土) 28日(土)
11月	●休講日(大学祭関連) ●修大祭 ●開学記念日 ●第3学期試験 ●振替試験日 ●祝日授業日	2日(木) 3日(金・祝) 4日(土) 13日(月)~17日(金) 18日(土) 23日(木・祝)
12月	●集中講義 ●年末・年始休暇	25日(月)~28日(木) 29日(金)~1月3日(水)
1月	●第4学期・後期試験 ●振替試験日	23日(火)~29日(月) 27日(土)
2月	●後期追試験	13日(火)~15日(木)
3月	●学位授与式 ●在学生ガイダンス	19日(火) 21日(木)

※予定は変更になる場合があります。
※最新の情報については、WEBサイトなどでご確認ください。

EVENT

■後援会総会、保証人向けガイダンス

後援会総会では、事業計画、予算及び決算などを審議します。
大学現状説明では、「本学の今年度の取り組みや今後の方針」について、保証人向けガイダンスでは、「大学生活について」「大学での学び」「キャリア教育・就職支援に関する取り組み」など、担当部局から保証人の皆さまへご説明します。

開催日程:5月27日(土) 場所:本学

後援会総会 10:00~10:40
大学現状説明 11:00~12:20
昼食会 12:30~13:20
保証人向けガイダンス 13:30~14:30

※内容、スケジュールについては、変更になる場合があります。



アンケートにご協力ください。

「広報誌TRUTH」および「本学広報」について、ご意見・ご感想をお聞かせください。

いただいたアンケート内容は今後の誌面作りおよび広報活動に活用させていただきます。

また、アンケートでプレゼントを希望された方の中から、抽選で修大オリジナルグッズをプレゼントします。

アンケートは以下のURLもしくは2次元コードからWEB上にてご回答ください。

<https://ws.formzu.net/dist/S38367980/>



PRESENT

修大オリジナル
ソフトリングノート

計20名



抽選で20名様に「修大オリジナルソフトリングノート」をプレゼント!
応募締切:6月19日(月)

※当選はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。※色は選べません。